

# 甲南大学法科大学院入学試験問題について

2017年度秋入学・2018年度春入学  
一般入学試験（A日程・8月27日分）

## 試験科目：商法

### 1. 出題趣旨

主たる論点は、手続き違反の違法取得自己株式の効力と具体的法令違反に基づく取締役の任務懈怠責任の2つである。

前者は通説的な立場によると相対的無効説の立場を前提に、Aが善意か悪意かを検討することにより効力を判断することになる。違反が重大であれば常に無効とする立場から、効力を論じてもよい。

後者については具体的法令違反があった場合の取締役の423条責任を正しく論じているかが問われる。

### 2. 採点実感

正しく理解できている答案とまったく論点を理解していない答案とで二極化されているとの印象を受けた。

### 3. 学習方法

教科書を何度も読んで条文を正しく理解することが必要である。